

支援活動・研修会について

長崎国際大学では、各学部・学科において行ってきたピア・サポート活動を2017年度より全学的な取り組みとして本格化した。2018年度にNPSを立ち上げ、ピア・サポーターの支援技術向上に向けて学内での研修会等を実施している。具体的には、支援機器の使用方法を学んだり、障がい者体験を行い障がい者の方への理解を深めている。

ピア・サポーターによる支援活動

本学では、利用学生（身体障がい、発達障がい、内部疾患など）に対して、一人ひとりの特性に応じた以下のような支援を行う。

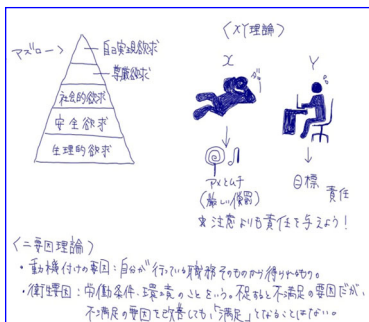
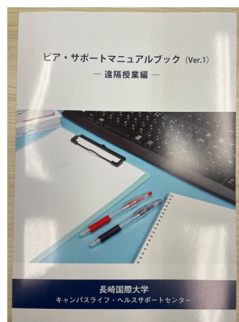
・移動支援（茶道室入口のリフト操作など）



・支援機器（UDトークやフェースターカーなど）を用いた支援



・ポイントテイクやノートテイク



・板書撮影



学内におけるピア・サポート研修会

支援活動の資質向上を目指し、ピア・サポーターに対して年に2回程度、以下のような研修会を行う。

・ノートテイクの仕方

マニュアルを基に効率の良いノートテイク方法を学ぶ。



・支援機器（UDトークやフェースターカーなど）

実際に支援機器を用いた体験を行い、対面授業での支援方法を学ぶ。



・バリアフリーマップ

学内を調査し、バリアフリーマップを作成した。また、定期的に見直しを行っている。



・障がい者体験（視覚障害、肢体不自由、車いす利用）

白杖や片麻痺体験スーツなどを使用し、障がい者体験を行う。

